

令和5年度第3回学校運営協議会議事録

日時 令和5年11月18日(土) 13:30~15:00
場所 多摩市立永山小学校 2階 ミーティングルーム
司会 教務主幹 (協議会時:会長 石川様)
記録 副校長

1 校長挨拶

〇日々お世話になっています。地域の運動会で多くの児童がお世話になり、PTAには一輪車寄贈をしていただき、とも一祭等では地域の方にお世話になっています。

ながリンピック運動会を1週間延期となりましたが、なんとか実施できました。事前に委員長と会長に承諾いただきありがとうございます。

永山地区防災連絡会の訓練に6年生がお世話になりました。非常用トイレ等の体験活動ができてよい学習となりました。児童からの感想も頼もしい言葉が聞かれました。

コロナ禍の言葉が聞かれなくなってきましたが、教員の働き方改革について検討しています。児童に一番近い教員が元気であること、同僚性を生かして素晴らしい活動をする事について、徒労感が生まれないようにすることが重要だと考えます。児童の主体性・自主性を育むためには、時間が必要だし、教員と児童のコミュニケーションを図るための時間創出を考える必要があります。

保護者アンケートについても、オンラインでお願いしていますが、気持ちの伝え方、言葉の使い方をもっと考えていかななくてはならないと思います。委員の皆様からも助言を頂きたいと思います。

2 内容

(1) 来年度以降の文化的行事について(校長)【承認事項】

来年度から、文化的行事につきまして、全職員で何度も討議し職員会義で決定しました。音楽会と展覧会的な行事の2サイクルで実施します。学芸会は児童の主体性を育む上で、授業時数がかかりすぎる。子供が主体的に取り組めることを大切にこの2サイクルでいきたい。

PTA 会長：教員は大変だと理解できる。働き方改革について推進する中で、たて割り班遠足も復活しない、運動会も午前で終わる、他校では学芸会を実施するという事実を鑑みて子供の体験が少なくなるように思う。

主体性を育むために、行事の種類で決定してしまうのは違うと思う。やり方、中身の問題だと思う。完成度は求めてなくていいので、学芸会をしないのは残念である。

子供にチャンスを与えることも大事ではないか。保護者代表として意見を言わせていた

できました。

青少協会長：基礎学習を削らないで取り組む行事、実施可能な行事に取り組むことが大事。提案を尊重したい。保護者アンケートを見てどんな意見が出たんですか

校長：ほとんどが励ましや称賛でしたが、中には、コロナ禍前に戻すような意見やもっと表現運動について工夫が必要だというようなご意見がありました。

館長：コロナ禍前にすべて戻せないことが多いです。提案を尊重したい。意見は申し述べていいのですが、苦渋の決断で校長が判断したことを尊重したい。

PTA 会長：子若条例に基づき、児童のアンケートを取らないのはどうしてか

校長：子若条例に基づき、行っている。運動会についても、振り付けや、係活動で児童の意見を反映させている。いろんな場で子供同士や教員と子供との対話を図っている。教育課程の編成については学校が決めていくことだと考えます。

PTA 会長：学校によって体験する場が、違うのは残念。年度末に学習発表会のような取り組みは考えていないのか？自分の思いはこの場で伝えたので。

青少協会長：幼児教育の携わっている方にきいてみましょう

園長：他の学校はどうでしょうか？学芸会は他校で取り組んでいますか？

教務主幹：取り組んでいる学校といない学校があります。

園長：運動会は12時半ごろに終わるようにシフトしている。働いている方にはお弁当を作らないでいいので好評。ライブ配信も行い始めた。職員のレベルも関係する。

行事の中でのプロセスが大事。朗読でも何でもいいのでチームで工夫して行うことが大事。

校長：中学に繋げることが大事。その観点から児童の考えを引き出すには、今回の提案の行事から育成できると考える。安全かつ健康で、時間的にも考慮している。

青少協会長：中学校の合唱祭すばらしい。ながおんフェスも中学校に繋がる行事だと考える。

園長：PTA 会長の意見はよく分かる。児童が活躍するのは学校全体の場合だけでなく、クラスの中が大事。学級で活躍する場をみてもらう。一緒に楽しむ場として運動会もシフトしている。大きな行事を再編しています。目の前の子供たちを見て判断することが大事。

(2) 第1回学校評価アンケート結果報告について (青木主幹教諭)

○今年度から時程を繰り上げたことで、朝の時間が確保できている。その分、集会の時間が厳しくなってきた。その課題を軽減するためにオンラインで取り組んだり、校内放送を駆使して時間を有効に使っている。

○研究のあり方を検討している。

○クラスで給食のおかわりルールが違う。今後、校内共有を図る。

○交流の仕方を工夫する

前期校内評価についてお話ししました。

(3) 令和5年度の全国学力・学習状況調査結果についてと授業改善プランについて (青木主幹教諭)

○全国の学力調査について

国語で東京都の平均を超えることができました。校内研究の成果の現れであろう。

算数も同上。国語で培った読解力の向上が要因ではないか。

○授業改善プランについて

個別最低な学び、協働的な学びを育むためには、ロイロノートを使うと、共有が可能、書くことが苦手な子も参加できる、こういう手だてを講じて図っている。

オンラインで、ミライシードも活用していることで学力向上を図っている。

他にも写真機能やブラウザをかつようしている。

(3) 令和5年度のながリンピック (運動会) について (矢野主任教諭)

先生の言う言葉以上に6年生の言葉が成功には重要であった。

演目・内容についてどこまで児童に任せるのかを悩んだ。

6年生だからではなく、この高学年すごいねと言われたことが嬉しい。

(4) ながおんフェスについて (小汲主任教諭)

実行委員会を立ち上げて、各クラスからの意見収集、決定案の周知を行う。

「ながおんフェス」の名称決定もその取り組みの一つ。スローガンもまとめた。

全校合唱の曲名も実行委員会で決めた。毎週1回取り組んでいる。打ち合わせや準備を通して主体性を育てている。当日の運営や言葉を児童が主体的に考えている。

(5) 意見交換・情報共有（各委員）

PTA 会長：児童の気持ちや保護者の気持ちをきちんと伝えた。柔軟に物事を決めていただければ嬉しい。

青少協会長：どんど焼きにむけて検討中。

園長：近所の方を招いて行事を行う予定

園長：保育の中で、取組方を行事を実施。移動動物園も12月に実施。

館長：学校側が取り組んでいる内容がよく分かりました。

主任児童委員：2年生の防災かるたの授業を拝見した。子供と保護者とが協働して防災知識を広げていた。運動会や音楽会を児童の言葉から楽しみにしている。

防災連絡会会長：組織への要望は多々ある。防災について高く意識してもらいたいと考え、組織の中でできることからやろうとしている。会長としては実施の有無について判断が難しい部分がある。学校はその判断がたくさんある。その点について感謝の気持ちでいっぱいである。

主幹から

次回について

第4回目（令和5年度最終回）

令和6年2月3日（土） 13:30～15:00（学校公開・道徳授業地区公開講座の日）

議題

○学校評価について

○令和6年度教育課程について【承認事項】

○ながおんフェス（永山音楽フェスティバルの略）について

○地域との合同防災訓練について

本日は、ありがとうございました。